

勇気を持って踏み出す年に

この冬休み中、大きな事故もなく、みなさんが過ごすことができ大変うれしく思います。

(ここからは、冬休み明けの第1回の全校集会で生徒の皆さんにお話したことです。)

毎年、年の初めには初詣に行く人も多いと思います。皆さんは行きましたか? 「こんな年になりますように」とか「こんなことがかかないように」といっばい願い事をする人も多いように思います。わたしもそうでした。しかし、本来のお参りは少し違うようです。「かなえてください」や「こうしてください」とお願いするものではないそうです。「私はこんなことをがんばりますからどうぞ見守ってくださいね」とか「約束しますからお守りください」という意味で手を合わせるのだそうです。何事も他人任せで「誰かが何とかしてくれる」ではなく、自分が願うことは自分でやる決心をして、自分でやりきろうと思うことが大切です。皆さんも勇気を持って自分自身の足で踏み出す年にしてください。

「財政」についての出前授業

昨年12月21日、3年生対象の「財政」についての出前授業が東海財務局のスタッフによって行われました。中学校3年生に対する「財政」を題材とした主権者教育と、日本の財政に興味を持ち、財政を自分たちの問題と捉え、自分たちの将来について考え、判断できる知識をはぐくむためを目的とし、約100分間の授業が行われました。メインは「財務大臣になって、国の予算をシミュレーションしよう!」というテーマで、グループに分かれて、グループに配られたタブレットを使って予算を立てました。生徒たちは生き生きと取り組んでいました。

そこで出されたクイズを紹介します。

- 1 救急車を1回呼ぶのに実際かかっている費用は?
① 8千円 ② 1.9万円 ③ 3.1万円 ④ 4万円
- 2 年間の救急車出動件数(591万件)のうち、軽症者の割合は?
① 約2割 ② 約3割 ③ 約4割 ④ 約5割
(答えは裏面下を見てください。)

